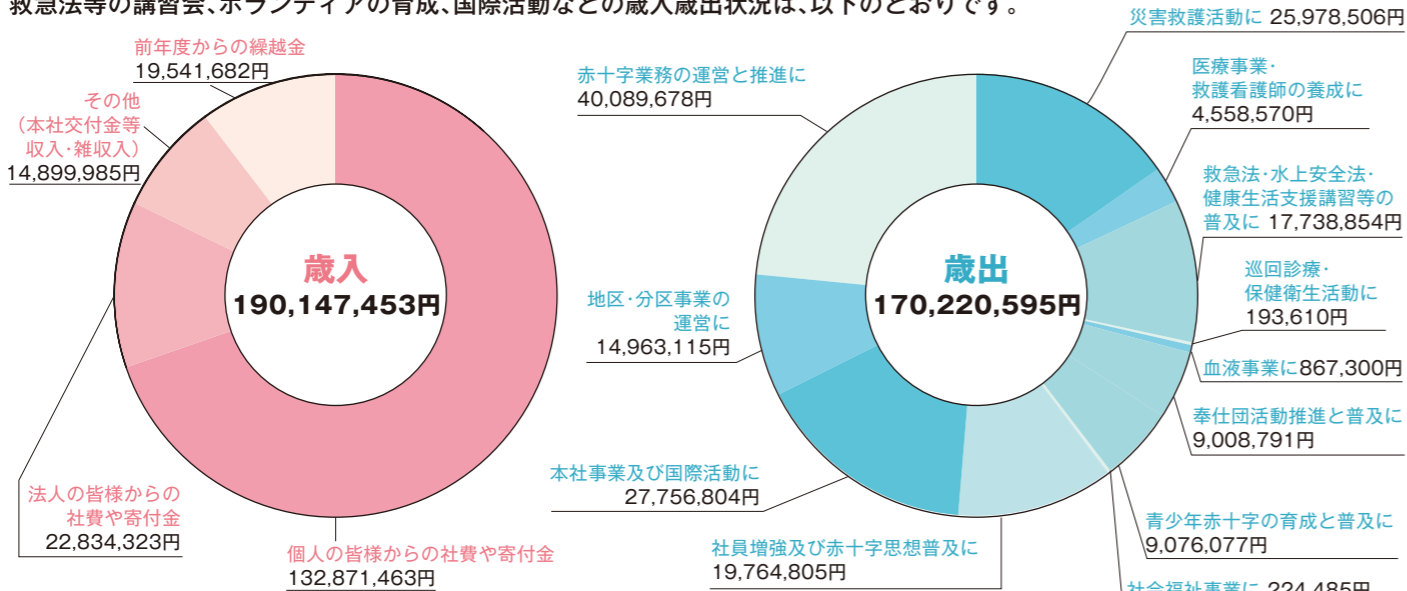


## 平成27年度 日赤島根県支部 収支決算のご報告

個人・法人の皆さまからいただく社費や寄付金を財源に日赤島根県支部で実施した災害救護活動、救急法等の講習会、ボランティアの育成、国際活動などの歳入歳出状況は、以下のとおりです。



※歳入歳出差引額1,992万6,858円は翌年度繰越金として28年度事業で活用させていただきます。  
 ※寄付金収入の一部には、益田赤十字病院新病院建設のための寄付金が含まれています。  
 ※赤十字病院、血液センター、乳児院は施設毎の会計になっており上記決算には含まれません。表中の「医療事業」、「血液事業」、「社会福祉事業」は、主として支部が関わる施設整備事業、献血思想普及活動、災害救護のための看護師養成事業、子育て支援活動等の事業費となります。

### 活動資金にご協力をお願いします

日赤の活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金(社費・寄付金)により支えられています。ご協力をお願いします。



### 表彰制度のご案内

活動資金へのご寄付やボランティア等でご協力いただいた皆さまに、その内容に応じて、有功章や感謝状等をお贈りしています。



金色有功章(個人)



金色有功章(法人)

### 活動資金へのご協力ありがとうございました

3万円以上のご寄付をいただき、掲載にご了解いただいた皆様をご紹介します。(対象期間:平成28年3月1日～平成28年9月15日)

#### ●個人から御寄付

二見鎌次郎(松江市) 森脇 善男(出雲市)  
 椋木 和雄(松江市) 松田 忠一(大田市)  
 小川 憲治(浜田市) 山脇 里美(江津市)  
 吾郷 雄二(出雲市) 勢田 房行(川本町)

#### ●香典のお返しに代えての御寄付

古津 年章(松江市) 松谷まち子(松江市)  
 花田 弘文(松江市) 寛 敦行(東京都)

#### ●法人・団体からの御寄付

カナツ技建工業(株) (松江市) 松江土建(株) (松江市) 益田地域医療センター  
 山陰中央テレビジョン放送(株) (松江市) まるなか建設(株) (松江市) 医師会病院 (益田市)  
 (株)さんびる (松江市) 浜田マル斗(株) (浜田市) (株)森本建設 (益田市)  
 (株)島根銀行 (松江市) 出雲大同青果(株) (出雲市) 石見銀山建設(株) (大田市)  
 島根県遊技業協同組合(松江市) (株)永瀬 (出雲市) (株)小田商店 (広島県)  
 (一社)しまね福祉防犯協会(松江市) (有)ファーマシーやまだ (出雲市)  
 (福)しらゆり会 (松江市) (有)堀江薬局 (出雲市)

(順不同・敬称略)



平成29年4月から名称が変わります！  
 「社員」が「会員」に、  
 「社費」が「会費」(活動資金)になります。

赤十字が行う活動は、皆さまからの資金協力により支えられており、支えていただく皆さまをこれまで「社員」と呼びしておりました。しかし、「社員」という名称は、株式会社などの社員や日本赤十字社の職員を連想することがあるため、平成29年4月から「会員」と名称を改め、わかりやすくなります。  
 名称は変わりましたが、引き続き赤十字の会員の一人として、年に700円以上を目安とした活動資金をお寄せいただき、日本赤十字社の活動のご支援をお願いします。  
 これからも、皆さまにとってわかりやすく、参加しやすい赤十字を目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。

### プレゼント

「Crokuma文房具セット」を  
 10名様にプレゼント！

以下を明記のうえ、ハガキでご応募ください。

- ①名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号  
 ④年齢 ⑤本紙へのご意見・ご感想

- 応募先／〒690-0873 松江市内中原町40  
 日本赤十字社島根県支部 総務課  
 ●応募締切／平成28年12月22日(木)必着

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。また収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。



日本赤十字社  
 Japanese Red Cross Society

# しまねの赤十字

2016.10.1

No.

80



熊本地震災害  
 一日も早く笑顔が  
 戻ることを祈って

(写真：被災者に寄り添う日赤の医療救護班)




# 地震発生！ その時あなたは どうしますか？

東日本大震災以降、地震活動期に入っていると指摘されている日本列島。今年4月の熊本地震は、大地震がいつどこで発生しても不思議ではないことを示したものと いえます。もし今地震が起きたら、あなたは適切な行動をとることができますか？ また、いざという時の備えはできていますか？ 地震を未然に防ぐことはできませんが、地震による被害を少なくするために、私たちにできることがあります。


## 熊本地震災害における日本赤十字社の活動

平成28年4月、最大震度7の大地震が、2度にわたり熊本地方を襲い、各地に大きな被害をもたらしました。日本赤十字社では、発災直後から被災地で負傷者救護や避難者への支援をするなど、被災者の命と健康を守る活動に総力をあげて取り組みました。


### 医療救護



医師・看護師などで編成する救護班が全国から熊本地方に駆けつけ、巡回診療や仮設診療所などで約5,000人の傷病者を診察しました。



派遣した救護班  
**207班 1,600人**



熊本赤十字病院に派遣した医療支援要員  
**285人**

※島根県支部からは、救護班5班55名、DMAT<sup>(注)</sup>2チーム15名、熊本赤十字病院への医療支援要員3名(医師1名、看護師2名)を派遣しました。  
(注：災害の急性期(48時間以内)に活動できる機動性をもった医療チーム。)

### こころのケア




被災された方々のストレスを少しでも軽減するため、「こころのケア要員」が、傾聴やリラクゼーションなどを行いました。




派遣したこころのケア要員  
**149人**

### 健康支援事業




高齢者の見守りや衛生管理等の健康支援、乳幼児健診等の母子保健支援など、被災者の健康を守る支援活動を実施しました。




※島根県支部からは2名の支援要員を派遣しました。

### 救援物資の配布



被災された方々に下記の救援物資を配布しました。



毛布 **22,480枚**  
安眠セット **7,551セット**  
緊急セット **654セット**  
ブルーシート **11,230枚**

### 義援金の募集・受付

**受付状況** **250億6,253万7,812円**(382,171件) ※平成28年8月24日現在集計分

**送金状況** **242億8,670万1,599円** ※平成28年8月25日現在集計分

※島根県支部受付は1億3,663万7,764円(1,036件) ※平成28年8月31日現在集計分  
※お預かりした義援金は、被災地に設置された「義援金配分委員会」へ全額送金し、順次、被災市町村を通じて被災された方々に配分されています。  
※義援金は、平成29年3月31日まで受付しています。

## 地震が起ったら…私たちにできること


**地震災害に備えよう！** いざという時の備えがあれば、災害の被害を最小限にとどめることができます。

#### 1.住まいの安全チェック




⇒家具の固定や配置を見直し、ケガをしない「安全空間」を作りましょう。

#### 2.避難場所や経路の確認



⇒地域の特性や状況を理解し、適切な避難経路を確認しておきましょう。

#### 3.非常持ち出し品の準備



⇒避難所での生活に備え、必要なものを準備しておきましょう。


#### 4.地域の防災活動への参加




⇒みんなで協力して災害を乗りきるため、地域の防災活動に参加しましょう。

**Pick up**

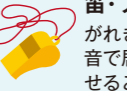
**あると便利な非常持ち出し品**



家族写真  
はぐれた時の確認用に！



ラップ  
食器の上に敷けば血洗い不要！



笛・ブザー  
がれきの下でも音で居場所を知らせることができます！



スリッパ  
ガラスや食器の破片等から足を守ります！

**地震だ！落ち着いて行動を！** 地震が起ると人は慌ててしまいます。正しく状況を判断し、落ち着いて行動をしましょう。

#### 1.まずは、身の安全を！



⇒揺れが収まるまで、机の下などで身を守りましょう。  
⇒水辺では高台へ避難しましょう。

#### 2.火の始末をする！



⇒揺れが収まったら、慌てずに火の始末をしましょう。

#### 3.出口を確保する！



⇒窓や扉を開けて、避難のための出口を確保しましょう。

#### 4.避難前の安全確認！




⇒避難する際はブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、「通電火災」を防ぎましょう。

**Pick up** 「エコノミークラス症候群」に注意！

避難所や車の中で、身体を自由に動かせない状態で長時間過ごす、足の血液の流れが悪くなり、血栓(血のかたまり)ができます。そしてこの血栓が原因で血管を詰まらせて肺塞栓をおこし、死に至ることもあります(エコノミークラス症候群)。足のむくみや痛みを感じる前に、まずは予防に努めましょう。


#### 予防その1

水分を十分にとる！  
身体が水分不足だと血液の粘度が高まり、血栓ができやすくなります。



#### 予防その2

定期的に身体をうごかす！  
ふくらはぎをむむ、足の指を動かすなど、狭い場所でもできる動きがあります。



## 赤十字の活動は、皆さまからの『活動資金』に支えられています

日本赤十字社では、このたびの熊本地震災害のように、一刻を争う災害時の救護活動をはじめ、平時には、救急法や防災セミナーの開催、災害に強い子どもたちを育むための教育活動の支援など、『人間を救うのは、人間だ。』をスローガンに、国民の命と尊厳を守る様々な活動に取り組んでいます。こうした活動は、県民の皆さまや企業・団体の皆さまからお寄せいただく『活動資金』により支えられています。これからも命を救う活動を続けていくため、『活動資金』にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 災害に強い人・地域・学校になろう！

赤十字が皆さまの街で「**出前講習**」をします！災害時に役立つ知識を学べるよ！



#### 災害から命を守るために



心肺蘇生やAED



ケガの手当



搬送

#### 避難生活に備えるために



非常食の炊き出し



リラクゼーション



身近なものでガウンやリュックづくり

#### 災害に強い子どもたちを育むために



学校における防災教育



学校における防災教育

#### その他にも

- ・災害の基礎知識
- ・非常持ち出し品の準備
- ・災害時における高齢者や幼児への対応

など、ご要望に応じた講習をいたします。まずはお気軽にご相談ください。

○お問い合わせ  
日本赤十字社島根県支部  
事業推進課 TEL (0852) 21-4237